

人権だより

宇和高校人権委員会

作成者：人権委員

2020. 3. 3

◇人権ホームルーム活動について

1年生は2月14日(金)に、2年生は2月21日(金)に各クラスで今年度最後の人権ホームルーム活動が行われました。

各学年の活動の様子や感想の一部を紹介します。

1年 1年生は「同和問題の解決を目指して」をテーマに活動しました。明るい未来を築くために何ができるか考え、差別や偏見が大きな障がいになっていることを学びました。

◆感想◆

- 同和問題について知ることができ、自分ができることをして差別がなくなるように行動していきたい。
- 人を外見で判断し、差別や偏見をすることは絶対にいけないことだと思った。みんなが平等に暮らせる社会を目指したい。
- 自分と違うことを恐怖に思ったりして、それが差別につながると思った。誰もが幸せに生きていくためにも正しい知識を持っていきたい。
- 同和問題を理解したつもりになっていた。正しく理解して、そのような問題に出会った時に正しく伝えられる人になりたいと思った。
- 同じ過ちを繰り返さないためにも、私たちが学んで伝えていくことが大切なんだと思った。



2年 「平等な社会を目指して 一戦後の解放運動とその成果」をテーマに活動しました。差別解消に向けて自分たちにできることを考えました。

◆感想◆

- 過去の履歴書を見て、昔は自分の能力以外のことを書くのに驚いた。
- これからの生活の中で差別を見かけたら、止められるようにしていきたい。
- 昔は、身分や周りの環境で決められていたことに驚いた。自分の能力で評価される日本になってほしい。
- 高校生の発言によって履歴書が改訂されたように、自分自身ができることから始めて、発信していくべきだと感じた。
- 昔の身上調査票は、一般的なものとして認知されていたからだと思うが、私たちも知らないうちにそうならないかを気を付けていきたい。



◇おわりに

今年度の人権ホームルーム活動は終わりとなりました。人を大切に思い尊重する気持ちや、人権を守ろうとする気持ちや行動につながります。学んだことをこれからどうしていくかが重要です。人を大切に思う気持ちを忘れず、行動するよう日々心掛けましょう！